

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2007-139770(P2007-139770A)

【公開日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-307205(P2006-307205)

【国際特許分類】

G 0 1 N 35/04 (2006.01)

G 0 1 N 21/47 (2006.01)

G 0 1 N 33/52 (2006.01)

G 0 1 N 33/66 (2006.01)

A 6 1 B 5/151 (2006.01)

A 6 1 B 5/157 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 35/04 F

G 0 1 N 21/47 Z

G 0 1 N 33/52 B

G 0 1 N 33/66 D

G 0 1 N 33/66 A

A 6 1 B 5/14 3 0 0 D

A 6 1 B 5/14 3 0 0 L

G 0 1 N 21/78 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年10月19日(2009.10.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テープカセット中に蓄えられた、複数のテストエレメント(14)を有する検査テープ(12)と、

前記検査テープの繰出しによってテストエレメント(14)を連続的に試料被着箇所(34)に搬送する検査テープ送り装置(16)と、

液体試料の被着されたテストエレメント(14)を測定箇所(36)において走査する測定装置(18)と、

を備えた液体試料の分析、とくに血中グルコース測定を行うためのシステムであって、前記測定箇所(36)が検査テープ送り方向において試料被着箇所(34)から離間配置され、

テストエレメント(14)上の液体試料の存在に応答して検査テープ送り装置を制御して、測定箇所(36)に、液体試料を被着しているテストエレメント(14)の湿潤領域(42)をポジショニングするためにテープ送りを断続するポジショニング装置(20)を備え、

前記ポジショニング装置(20)が測定箇所(36)で的確にテープを停止させるために、テープ駆動装置(32)と接続された制御ユニットを有し、

前記複数のテストエレメント（１４）に試薬層（３８）が設けられ、当該試薬層が、色変によって液体試料中の検体に反応すること  
を特徴とするシステム。

【請求項２】

前記ポジショニング装置（２０）が、湿潤領域（４２）の通過に際して応答する少なくとも１つの光学式検出ユニット（４８、５６、６２）を有することを特徴とする請求項１記載のシステム。

【請求項３】

前記ポジショニング装置（２０）が、測定装置（１８）の実効信号検出ゾーンの前後のテープ通過箇所に向けられた２個の光源（４８）を有することを特徴とする請求項１または２記載のシステム。

【請求項４】

前記ポジショニング装置（２０）が、共通の集束レンズ（５０）を経て検査テープ（１２）上にビームスポットとしてテープ送り方向に連続して集束される複数の発光ダイオード（４８）を有することを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項５】

前記ポジショニング装置（２０）が、テストエレメント（１４）の反射率測定走査を行うための少なくとも１個の光センサ（５６）を有することを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項６】

前記ポジショニング装置（２０）が、湿潤していないテストゾーン（４６）において空試験値（Ｌ）を検出し、湿潤領域において該試験値とは異なるターゲット値（Ｂ）を検出することを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項７】

前記測定装置（１８）が、液体試料中の検体を検出するための実効信号検出を行う、ポジショニング装置（２０）とは別個の検出器を有することを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項８】

前記テストエレメント（１４）が、検査テープ（１２）上に試薬層として形成された面状テストゾーン（３８）によって形成され、テストゾーン（３８）は液体バリア（４４）によって液体試料から切り離された、空試験値測定用の参照領域（４６）を有することを特徴とする請求項１～７のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項９】

前記検査テープ（１２）が、少なくとも区域ごとにテープマーキング（６０）とくにバースケールを備え、ポジショニング装置（２０）が走査手段（６２）、特にテープ送りの過程でテープマーキング（６０）を走査するための光電ビーム装置を有することを特徴とする請求項１～８のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１０】

前記テストエレメント（１４）の湿潤領域（４２）が、５mm以下の直径を有することを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１１】

前記測定箇所（３６）が、試料被着箇所（３４）から５mm～５cmだけ離間して位置していることを特徴とする請求項１～１０のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１２】

前記試料被着箇所（３４）に検査テープ（１２）を刺通して身体部分を穿刺する穿刺装置（７０）が配置されていることを特徴とする請求項１～１１のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１３】

検査テープ（１２）上の複数のテストエレメント（１４）が、テープ送りによって試料被着箇所（３４）から、同所から離間して位置する測定箇所（３６）に連続的に搬送される

ように構成してなり、

それぞれのテストエレメント（１４）上の液体試料の存在に応答するポジショニング装置（２０）によってテープ送りが制御されて、液体試料の被着されたテストエレメント（１４）の湿潤領域（４２）が測定箇所（３６）にポジショニングされる、液体試料の検査とくに血中グルコース測定を行うための方法であって、

前記ポジショニング装置（２０）が測定箇所（３６）で的確にテープを停止させるために、テープ駆動装置（３２）と接続された制御ユニットを有することを特徴とする方法。

【請求項１４】

前記テストエレメント（１４）の湿潤領域（４２）が、１～２ｍｍの直径を有することを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載のシステム。